

OB NEWS

JAPAN PROFESSIONAL BASEBALL

社団法人全国野球振興会
(日本プロ野球OBクラブ)

vol.51
2011-AUTUMN



©水島 新刊
全国野球振興会
イメージキャラクター
[95年]

■新コーナー

「スペシャル対談」

「OBたちのNext Professional Life」

エポック社の 野球盤

NEW

左右打席対応のハイブリッド
バットでビッグアーチ!

野球盤 ドクターケイ
V.S. ダブルスラッガー

7色の変化球と駆け引きを
楽しめるスタンダードモデル!

野球盤 K(ドクターケイ)

携帯してどこでも遊べる
コンパクトな野球盤!

野球盤 ジュニア



エポック社
<http://epoch.co.jp/yakyuban/>

キャッチボールより、
親子の距離は
縮まった。
キミが大人になった時、
パパと野球盤で遊んだこと
忘れなくてほしいなあ。



「第8期 都道府県代表幹事」決定

新都道府県代表幹事およびブロック長が、下記一覧の皆さまに決定しました。
選出された皆さまには、社団法人全国野球振興会の発展のため
他の会員の皆さまとともにご尽力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

※敬称略

①北海道・東北		
都道府県	氏名	備考
北海道	有澤 賢持	ブロック長(北海道)
青森	不在	
岩手	吉田 克郎	
秋田	小西 秀朗	ブロック長(東北)
宮城	小野木 幸	
山形	不在	
福島	不在	

③北信越		
都道府県	氏名	備考
長野	川島 正幸	新任
新潟	大滝 信季	ブロック長(新任)
富山	千塚 崇永	
石川	不在	
福井	川藤龍之輔	

⑥中国ブロック		
都道府県	氏名	備考
鳥取	黒坂 幸夫	
島根	石橋 貢	
岡山	中藤 義道	
広島	渡辺 弘基	ブロック長
山口	不在	

②関東		
都道府県	氏名	備考
茨城	根本 学	ブロック長(新任)
栃木	五月女 豊	
群馬	種部 信康	
東京	倉高 新治	新任
	安田 猛	新任
山梨	内藤 久	

④東海		
ブロック長: 河村 保彦		
都道府県	氏名	備考
静岡	田所善治郎	
愛知	彦野 利勝	新任(前副幹事)
岐阜	吉村 典男	
三重	谷本 征一	
	森田 通泰	

⑦四国ブロック		
都道府県	氏名	備考
香川	田中 調	
徳島	白石 静生	ブロック長
高知	岡 幸俊	
愛媛	不在	

⑤近畿		
ブロック長: 岡本 伊三美		
都道府県	氏名	備考
滋賀	西川 克弘	
京都	大門 和彦	
奈良	元田 昌義	新任
和歌山	木村 竹志	
大阪	和田 徹	
兵庫	鎌田 実	
	芝池 博明	

⑧九州		
ブロック長: 三浦 政基		
都道府県	氏名	備考
福岡	永射 保	新任(前副幹事)
大分	岸川 雄二	新任
宮崎	片岡 光宏	
鹿児島	安田 泰一	新任
沖縄	森長 隆	

●退任について

今回の改選およびご自身からの申告に伴い、
右表の皆さまの退任もお知らせします。
退任者の方々には、これまでのご支援に感謝申し上げます。
そして引き続き、当会の諸活動に
ご理解、ご協力いただけますよう、お願いします。

氏名	都道府県	氏名	都道府県
徳武 定祐	青森	上田 誠人	愛媛
福本 万一郎	福島	荒木 隆夫	熊本
村上 雅則	東京	松岡 功祐	大分
松岡 弘		中村 國昭	
古澤 勝	長野	鶴狩 道夫	鹿児島
黒田 勉	奈良		

※敬称略

第7回 日野原重明カップ スローピッチソフトボール大会

当会では、全国各地で行われる野球イベントへ後援、協力名義等を行っています。

9月17、18日に大田スタジアムで行われた標記大会に、後援を行うとともに、講師派遣協力として森 徹 理事長、石井 浩郎氏が参加し、スーパーシニア(60歳以上のスローピッチ実践者)と交流を深めました。

また、日野原重明先生(聖路加国際病院 名誉院長)の100歳記念セレモニーも行われ、快活にスローピッチを楽しんでいる高齢者の皆さんは、日野原先生やプロ野球OBの激励を受け、野球を通じてさらなる健康を目指していくと言われていました。



スーパーシニアの皆さん

右から日野原先生、森理事長、石井講師

2011年度 野球指導者養成・認定制度事業 「全国野球振興会野球技術指導員登録証」発行

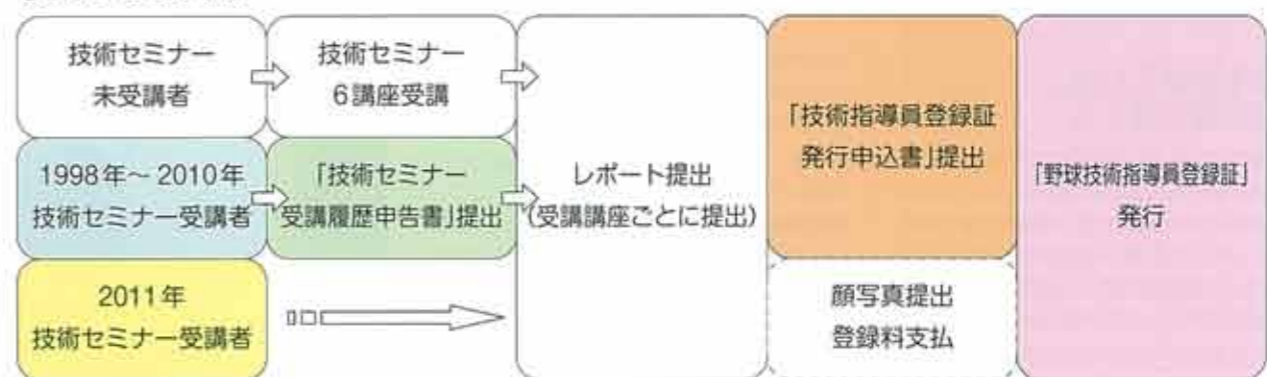
野球事業推進委員会報告

これまで会報誌等でお知らせしてきたとおり、OB会員を対象に「全国野球振興会野球技術指導員登録証」を発行します。
発行対象となるのは、技術セミナーの所定講座を受講し、レポート課題をクリアした方です。セミナーの受講は、本年度に限らず過去受講(1998年以降)したものも含まれます。発行を希望する方は、まずは「技術セミナー受講歴申告書」をご提出ください。事務局管理データと照合し、適合した方へレポート提出のご案内をさせていただきます。

なお、本年度のセミナーを受講し、すでにレポートを提出されている方で「指導員登録証」の発行を希望する方は、「技術指導員登録証発行申込書」のご提出をお願いいたします。

「技術セミナー受講歴申告書」「技術指導員登録証発行申込書」は事務局まで

(発行までの手続)



※技術セミナー必須講座(下記参照)

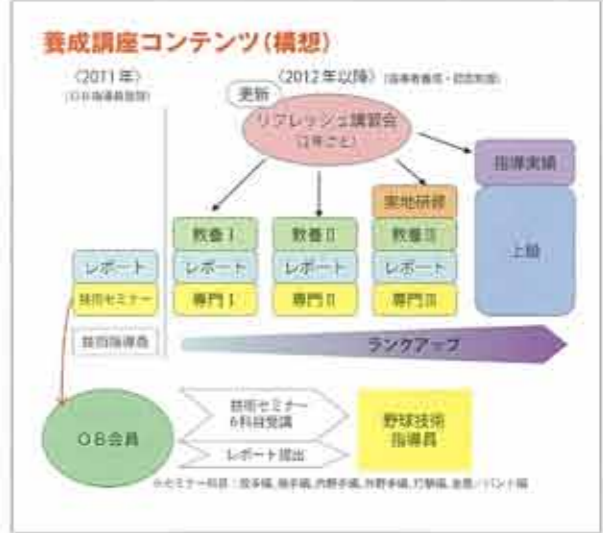
※登録料5,000円

技術セミナー

〈開催予定〉
東海地区: 2011年11月26日(土)
中日ドラゴンズ屋内練習場内会議室

実施報告	10月15日(土)	10月16日(日)
関東地区(神宮絵画館)	13:00~14:20 講師 与田 剛	13:00~14:20 講師 水上 善雄
	14:30~15:50 講師 佐野 元国	14:30~15:50 講師 中塚 政幸
	16:00~17:20 講師 末次 利光	16:00~17:20 講師 仁志 敏久

〔注〕
技術セミナーへの参加が困難な方のために、通信講座の開設や他事業への参加により、セミナー受講を免除するなど、「野球技術指導員登録証」取得のための特例を検討中です。



野球技術指導員とは

「野球技術指導員」は本制度の基礎資格です。「資格を持ったOBに広く野球教室等の事業で活躍してほしい」「基礎資格をもつことで指導者としてのさらなるレベルアップを目指すきっかけになってほしい」との狙いから、本資格は比較的取得しやすい課題設定となっています。

「野球技術指導員」以上の資格付与は2012年度以降に実施を検討しています。ランクアップした資格の取得にはスポーツに共通した教養講座(傷害予防、栄養、コミュニケーション能力など)の受講や指導現場の实地研修などが課題となる見込みです。

いま求められている指導者とは？

このたび、社団法人全国野球振興会と学校法人国際学園は、青少年の健全育成及びそのための指導者養成を図るため、相互協力することになりました。アマチュア野球の指導者になりたいというOBは多く、そのためには「全国野球振興会野球技術指導員登録証」や教員資格といったライセンスの取得は必須条件になります。そこで、社団法人全国野球振興会の森 徹 理事長と、保育園・幼稚園から中学、高校、大学、そして社会人を対象とした生涯学習まで幅広く展開している星槎グループの宮澤保夫 会長（学校法人国際学園が運営する星槎大学等を統括する星槎グループ会長）との間で「今、社会に求められる人材とは？」「そのための教育とは？」「求められる指導者とは？」等に関する白熱討論の一部を掲載いたします。

資格を取得すれば活躍の場が増える

森理事長（以下 森） ■プロ野球経験者は、自ら実践することに関しては相当な能力を持っています。しかしながら、指導者となると別です。教えることが不得手なOBも少なくありません。指導者となった場合、不可欠な基礎知識（心理的、生理的等）が不十分な場合もあります。とくに、年齢、年代別の指導法



宮澤 保夫（みやざわ やすお）
星槎グループ会長

1949年7月27日生まれ。東京都出身。慶大中退後、72年に学習塾「鶴ヶ峰セミナー」を開設。生徒2人の時から、一代で保育園・幼稚園から中学、高校、大学、さらには社会人を対象とした生涯学習まで展開する「星槎[せいさ]グループ」を立ち上げた。現・星槎グループ会長。星槎グループは「不登校」「軽度発達障害」などの生徒をも対象とした「関わりあい」教育が高く評価されている。現在、全国で約17,000人が学ぶ。今年星槎中学高等学校が横浜市旭区若葉台に拡大部転。来年は星槎名古屋中学校を開校予定。著書に「人生を逆転する学校」（角川書店）などがある。

（一貫性指導）についてどのように対応していくかは重要な部分であります。そこで当会は、7～8年前から検討、試行を繰り返してきた「野球指導者養成・認定制度事業」を本格的に再始動させました。

宮澤会長（以下 宮澤） ■スポーツ界の指導者という点、以前は、現役時代の経験だけを頼りに教えている人が多かったのですが、今はプロの指導者が必要とされています。これはスポーツの世界だけに限りません。教育の現場でも、いかに相手に伝えるかが問われています。教えるというのは、好きだからできるものではないと思います。

森 ■OBには自分のポジションだけでなく、指導者となるためには全てのポジションについて勉強すべきであると進言しています。

宮澤 ■貴会が取り組んでいる「野球指導者養成・認定制度事業」と、本校（星槎大学）の通信教育を組み合わせると、より良い方向に進む気がします。たとえば、スポーツ心理学を本校の一般教養の心理学で学ぶのも一つの方法では。

森 ■私はOBには、できれば教員資格を通信教育で取得してもらいたいと、思っているんです。

宮澤 ■本校では社会貢献活動も大学を卒業するための単位になっているのですが、野球教室での指導を社会貢献活動として単位認定することも考えられます。貴会の指導者養成講座の科目を本学の単位とすることで、大学卒業に必要な単位を効率良く取得できます。また、本学は通信制ではありますが、学習拠点到週1回からでも通学できる体制になっておりまして、通信のみの学習に不安のある方へは、スタッフが教員免許取得をサポートしています。教員免許プラス貴会が認定する野球指導員のライセンスがあると、OBの方の活躍の場が広がるでしょう。

森 ■今後、少子化が進むと、1つの学校で1チームを組むのが難しくなることも考えられます。（東日本大震災後、転校などで部員数が減った富岡高、双葉翔陽、相馬農の3校で結成した）福島県相模連合のようなチームが



何校も出てくると思いますが、そうなると新たな指導者が必要になるでしょう。その一方で、日本は年々高齢化社会になっていますから、年配の方にスポーツを教える人も必要とされています。様々な可能性がある中で、OBは幅広く勉強をして、こうした場でも、指導できるようにしてもらいたいと思っています。

宮澤 ■行政は地域レベルでスポーツを教えられる人を求めているようです。ただし、ただ教えられるだけではダメで、求められているのは、世代別指導ができる人。それも行政にとっては一つのサービスだからです。このようなところでも、OBの方は力を発揮できると思います。

森 ■そのためには資格が必要ですが、単なるライセンスではなく、中身が濃いものになければと思っています。

指導者はスポーツの持つ力を認識すべき

宮澤 ■一般的に、ライセンスさえ取得すればいい、と考えている人が少なくないですが、ライセンスがあるということは、それだけの責任が伴うということ。与える側は取得する側に、そのことを認識させなければなりません。それと継続性も大事。ライセンスを取得して終わりではなく、次のステップ、そしてその次のステップがあると、よりライセンスが生きてくるので、社会貢献度が高いものに

もなるでしょう。

森 ■おっしゃる通り、ステップを踏んでいくことは大切です。柔道では、指導者として後輩に指導できるのは四段以上で、しかも指導者登録をしている者に限られています。六段以上が師範です。資格のない人が指導してケガ人が出たり、誤った指導により個人の成長の芽をつんでしまったりしたら大変なことになります。故に指導者たる者は、常に勉強を怠ってはならないと思います。常に自分を磨き続けることに備打ちがあり、誇りと責任を持って教えることができるのではないのでしょうか。

宮澤 ■ステップを踏むということはすなわち、単にスポーツができる人から、優れた人間に近づくためのシステムのような気がしています。

森 ■勉強すること、精進することは、その人の備打ちを高めることですからね。自分の財産になる。

宮澤 ■そしてその財産を、経験を積み重ねて、確固たるものにできれば、これはお金をいせば買えるものではありません。指導者になる人は、目標に向かって我慢することも必要でしょう。

森 ■日本はいま、地震、津波、そして洪水と、次々に大変な試練を与えられています。しかし、そのことによって、忘れられていた日本人の本質的な部分が、鍛えられているような気がします。先の東日本大震災では、日本人

の我慢強さや粘り強さが、海外で評価されたようですが、こうしたものを磨くことができるのが、スポーツであり、武道だと思います。宮澤 ■スポーツのいいところは礼儀が学べること。それと、個人競技でも団体競技でも「自分の役割」を知ることができるのが、スポーツの美点だと思います。

森 ■教科書だけでなく「グラウンドや道場」で学べることはたくさんあるのだから、その機会を増やすことも必要ですね。

宮澤 ■私もよく「机上で教えるな。グラウンドへ連れ出せ」と言ってるんですよ（笑）。いま欠けていると感じるのが、「共感理解教育」です。自分の弱いところを認識して、相手のいいところを認識する。そして、自分が足りないところは誰かに手伝ってもらおう。このように子どもたちを導くための手段のひとつが、グラウンドでの教育だと思っています。

森 ■教育論になりますが「教え過ぎない、教え込まない」が私の持論です。一生懸命教えれば教えるほど、いつの間にか指導者の型を押しつけがちで、個性が失われる場合があります。あくまでも基本的に正しい方向を示し、サポートしてあげることが指導者の役目だと思います。メジャーリーグでも「Don't over teach」と言う言葉が使われていると聞きました。

宮澤 ■私は10人いたら10通りの教え方があると考えています。大切なのは、なぜ問題が解けないのか、理解力がどこまであるのかを把握した上で、その子なりの理解する方法を見つけてあげることですから、星槎グループでは、何かを押し付ける教育はしていません。こんなやり方もあるよ、と選択肢を示すようにしています。それが30年前からの本校のスタイルで、心に傷を持つ子に合った教育もしてきました。ただし個別指導はしていません。社会性を持たせるためには団体である必要がある中で、能力に応じた小さなクラスを作っています。それによって前述の「共感理解教育」を行っているわけです。自分のマイナスイ面を認知することはスポーツにおいても大事だと思います。

森 ■ただ自分の欠点はなかなか認識できないものです（笑）。

宮澤 ■自分のことを学ぶのは、実は一番難しいですからね。

森 ■宮澤会長が書かれた本にもありましたが、私も人を導くときは否定から入らないように気をつけています。相手の意欲を肯定しながらいくつかの選択肢を提示、提案するやり方です。それから、褒めることの重要性も十分に認識しています。何事においても褒め

られるということは脳の活動を活発にする効果があるようです。スポーツは、健康、体力維持のための健康スポーツと、勝負、記録を競う競技スポーツに分かれますが、どちらにしても目標を達成したときの喜び、感動は格別なものであります。

宮澤 ■感動は教室で教科書に向かっていても、なかなか得られませんが、スポーツの場では、感動や発見がしやすい。そのため、目標を立てやすく、結果についての自己反省ができるのがスポーツだとも思います。ですから、スポーツの指導者はそれを理解すべきです。スポーツの持つ大きな力をもっと認識すべきでしょう。本校にいる不登校の生徒のなかには、部活動には出てくる子はいますからね。森理事長も先刻ご承知の通り、伝えるというのはとても難しい作業で、ライセンスがあればできるというものでもありません。それでも指導者になったなら、何が何でも伝えることを諦めないでほしいと思います。



森 徹（もり とおる）
社団法人全国野球振興会理事長

1935年11月3日生まれ。旧海州出身（戦後引き揚げ）。早大高等学院から早大に進み、長距離騎手として神宮で活躍。卒業後中日に入団し、新人ながら23本塁打を放つ。2年目は31本塁打、87打点で二塁王に輝く。62年に大洋に移籍し、66年からは東京（現千葉ロッテ）。68年限りで引退した。本塁打王1回、打点王1回、ベストナイン3回、オールスター出場5回。2001年より社団法人全国野球振興会の理事となり、今年5月に理事長に選任される。社団法人日本プロスポーツ協会の理事も務める。

東日本大震災復興支援活動を展開

三菱商事助成事業

東日本大震災復興支援活動2011

～中学校応援プロジェクト(岩手・気仙地区)～

「競技に集中することで日常を取り戻すきっかけをつくりたい」との被災中学校の先生からの要請を受け、上達する！強くなる！野球教室を目指して活動してきました。

技術分野では、「キャッチボール」を主にしたプログラムを展開。「心」の分野では、武野講師による「プロ野球選手が緊張感とどう戦っているか」をテーマにしたワークショップが開かれ、これまでにない趣向を凝らした教室ができたのではないかと思います。

最終日には、バットの原木アオダモの植樹を行いました。苗木がバットになるまでおよそ70年。生徒と一緒に植えた苗木は70年後の未来に確かなメッセージを届けてくれるものと信じています。

〔活動地域〕

岩手県気仙地区(陸前高田市、大船渡市、住田町)

〔対象〕

気仙地区中学校体育連盟軟式野球専門部(1・2年生)
住田町立有住中学校(ワークショップ・植樹)
大船渡市立第一中学校(植樹)
陸前高田市立第一中学校(植樹)

〔講師〕

※敬称略

投手:大川 章(元ヤクルト)、森 宝生(元西武)
捕手:定詰 雅彦(元ロッテ)、原 俊介(元巨人)
内野手:田野倉利男(元中日)、村岡 耕一(元大洋)
佐藤 洋(元巨人)、
外野手:中塚 政幸(元大洋)、松本 匡史(元巨人)
プロスポーツセラピスト:武野 顕吾(元横浜)

	10月1日(土)	10月2日(日)	10月3日(月)
活動内容	指導者講習会	野球教室	学校交流会 アオダモ記念植樹
対象	野球部指導者 保護者等 約50人	野球部1・2年生 200人	有住中 大船渡一中 陸前高田一中
用具寄付	ティーネット10台、軟式ボール50ダース		

義援金収支報告

お預かりした義援金	¥1,188,103
第17回 ダイワハウス全国少年少女野球教室 義援金	¥909,103
第18回 日本プロ野球OBクラブゴルフコンペチャリティーオークション	¥279,000
使途	¥389,851
6月14日 気仙地区中学校体育連盟(岩手) 軟式ボール50ダース寄贈	¥217,350
8月8日 東日本大震災復興支援ティーボール交流大会 講師5名分交通費(西武ドーム)	¥22,624
10月26日 多賀城市体育協会(宮城) 軟式ボール36ダース寄贈	¥149,877
残額(10月26日現在)	¥798,252

※今後も、被災地での野球教室開催経費や野球用具提供への使途を予定しております。

第17回ダイワハウス全国少年少女野球教室

東日本大震災被災地区での開催

被災地であり中止延期していた「宮城県」につきましては、8月21日(日)「多賀城市立高崎中学校体育館」で市内スポーツ少年団など約130名を招き、当会から小野木孝、若生智男、千田啓介、大沢 勉、松沼博久、大久保美智男、小石澤浄孝(敬称略)の7名が参加指導しました。

同じく被災地である「岩手県」へは、10月29日(土)30日(日)、宮古市にある「新里山村広場野球場」にて市内小学生約150名を招き指導します。



東日本大震災復興支援ティーボール交流大会

西武ドームにて、8月8日(月)に行われた「東日本大震災復興支援ティーボール交流大会」に、森 徹、坂巻 豊、片平晋作、辻 政孝、森 宝生、佐藤 洋、小野和幸(敬称略)の7名を講師として派遣しました。

各講師がティーバッティングを参加者一人ひとりに指導。その中で、際立って元気の良いチームを発見。それは生徒だけでなく、指導者や保護者など全員で盛り上がる福島のチームでした。なぜ、こんなに元気がいいのか? 指導者に尋ねると「普段は野球をする場所がないから」。そう笑顔で応えてくれた一言に、被災地で生活する子どもたちの実情を垣間見ました。

この交流大会はNPO法人日本ティーボール協会が主催する「第14回全国小学校(3・4年生)ティーボール選手権大会」の一部として実施。例年、各都道府県で代表1校(例外あり)の参加ですが、震災の復興支援を目的とする本年度は、交流大会に福島県のみ10校の小学生チームが招待されました。今後は震災関係のみならず、ティーボール事業を行う予定です。



さいたま市障害者スポーツ教室(野球競技)

外出を嫌う障害者。OBクラブにできることは?

6月25日(土)さいたま市営浦和球場で行われた「さいたま市障害者スポーツ教室(野球競技)」に、鈴木 健氏と三井 浩二氏が講師として参加しました。

障害を持つ子どもたちは、夏休みなどの長期休暇のあと、

体重が増加する傾向にあります。理由は学校が休みになると、外出しないから。従って関係者は「家の外へ出る楽しみを見つけてほしい」と話します。そのような面からも障害者に対して、当会の果たすべき役割があるのではないのでしょうか。

教室当日の天気予報は、午後から雨。13時半より開始予定のため、開催が懸念された。そんな空模様の中、41名の参加者が会場に集合。「少しの時間でも教室を行えたら」と、鈴木講師の計らいで30分早めて開始した。

今回の参加者は知的、精神に障害のある方々で、野球やソフトボールの競技経験者、そしてまったくの未経験者の両者が入り混じっていた。

何かしたい

楽しんでもらうために

最初に三井講師がキャッチボールを指導。ボールの握り方から説明し、腕を振るだけ、腕だけでボールを投げるのではなく「しっかりステップを踏んで、足も使うこと」と身振り手振り、丁寧に参加者へ伝えた。

野球未経験者は上半身と下半身を使って投げると、ボールがより速く届くことを体感。キャッチボールの楽しさを見つけたのだろう。

また、バッティング部門では鈴木講師の「じゃあ、ホームランの打ち方を教えよう!!」という言葉でスタート。参加者は鈴木講師の元気の良さに引っ張られ、ボールの当たりに関係なく、笑顔が絶えなかった。

教室の最後に、西講師の提案で「三井講師が投手、参加者が打者となり勝負す



るゲームを予定していたが、終盤に大雨となり実施できずに終了。しかし「みんなに楽しんでもらうために何かしたい」という両講師の気持ちは、参加者に伝わったはず。

唯一の障害者イベント

今後の展開を模索中

当会は毎年、数多くの野球教室を行っているが、障害者を対象とした事業はこの教室ただひとつ。健常者だけではなく、さまざまな人に野球と触れ合う機会を提供する。それが冒頭で述べた当会の果たすべき役割であると考え、新たな事業展開を企画している。

具体的には、埼玉県内の特別支援学校

へ訪問し、授業内で野球を楽しんでもらうことを計画。来年度の実施に向け模索中で、すでに3校から依頼がきている。

ともに楽しむ

それが最良の指導法

障害者が対象ということで「指導が難しいのでは?」と、講師参加を敬遠するOBがいるかもしれない。しかし、重要なことは技術的な指導より「参加者の気持ちを盛り上げること」。そして、参加者と一緒に楽しむことが最良の指導法である。

これまで行ってきた野球教室などのイベントに加え、障害者事業に対してもOBの皆さまの協力が必要とされている。

第18回 日本プロ野球OBクラブ 東日本大震災チャリティーゴルフコンペ



の野球用具の提供を目的として、現役選手及びOBからサインボールやサインバットなどをご提供いただき、チャリティーオークションを開催したところ、279,000円の収益金が集まりました。収益金は、当会県幹事及び地元少年野球関係者と協議し必要な用具購入に活用させていただきます。

当会活動にご理解ご支援いただいております、各企業の皆さま及び賛助会員の皆さまと、当会会員39名と共に、9月26日(月)秋晴れの中、昨年同様埼玉県「東松山カントリークラブ」において145名のコンペを開催いたしました。

またこのたびは、被災地の子どもたちへの

第12回 九州地区 日本プロ野球OBクラブ チャリティーゴルフ大会

昨年同様、スポーツニッポン新聞社西部本社と共催で、11月22日(火)「麻生飯塚ゴルフ倶楽部」にてチャリティーゴルフ大会を開催いたします。

当日のチャリティーオークションなどの収益金は、地元「太宰府ライオンズクラブ」に青少年健全育成基金として寄付をいたします。

ベースボールアドバイザーとして 地域密着で活動

「株式会社アルペン」(1972年設立)のグループ企業である総合スポーツ大規模店舗「スポーツデポ」店舗には、各球技コーナーが設置され、「スポーツギアワークショップ」では野球用品(グラブ、バット、スパイク)の加工・修理を行ってくれる。また「ヒッティングケージ」ではバットの試打も可能である。コーナーでは、野球専門スタッフが丁寧にプレイヤーの身になってアドバイスしてくれる。そのスタッフの中にベースボールアドバイザーとして元プロ野球選手が現在25名勤務し、

内15名が当会会員である。同社に元プロ野球選手として3人目に入社し、現在「相模原店」に勤務する大川 章氏に話を聞いてみた。

「最初に入社されたのが、笠間雄二さん(巨人、阪急、阪神で捕手としてプレー)でした。それから年を追うごとに元プロ野球選手が入社してこられ現在25名となり、全国の店舗で勤務されています。店舗には野球専門コーナーがあり我々の経験を生かして、野球道具選びからバットの試打をヒッティングケージで行ったりして良い商品をご提供しようと考えております。

当会会員 野球アドバイザー 在籍一覧

氏名	勤務店舗
1 笠間 雄二	SD S・W 神戸
2 金沢 章彦	SD 川崎
3 柴田 佳主也	SD 天主寺
4 大川 章	SD 相模原
5 岡田 展和	SD 大曲
6 太田 節正	SD マリノアシティ福岡
7 織屋 道夫	SD 球磨県庁前
8 船木 聖士	SD 尾崎下坂部

2011年5月21日現在 最新版

氏名	勤務店舗
9 中川 明仁	SD H・W 小山
10 平良 幸一	SD 天久
11 川村 一明	SD 南松本
12 中野 佐雄	SD 北本
13 石橋 文雄	SD 福山
14 鈴木 俊雄	SD 新大塚
15 小田 真也	SD 沼津

※SD: スポーツデポ, SD S・W: スポーツデポサンシャインウーフ, SD H・W: スポーツデポハーヴェストウーフ

今回のOB



大川 章
1957年9月27日生まれ
(54歳)
兵庫県出身 投手
青英高→大阪大
1979年ドラフト2位でヤクルト入団

また、店舗での野球教室も実施し地域の子供さんから草野球をされる方々まで指導をさせていただいております。野球経験者の上司がいるお店ですごく働く環境は整備できていると思います。だからセカンドキャリアとして選んで入社して来られると思います。どうか我々の店舗に一度お立ち寄り下さい」と大川氏は語る。

当会会員15名の勤務する店舗は左表の通りです。

株式会社アルペン
設立 1972年7月
本社 東京都中央区丸の内二丁目9番40号
HP <http://www.alpen-group.jp>

第4回 日本プロ野球OBクラブ 東京ベースボールスクール 参加者募集



軟式野球コミュニケーション主催の本事業は、来春高校硬式野球部に所属見込みの中学3年生を対象としたベースボールスクールです。中学校の部活引退から高校野球部に所属するまで練習環境を失ってしまう中学3年生に自信を持って高校野球の世界に飛び込んでもらいたいという気持ちから、思いきり練習し、不安を解消できる環境を提供したいと考えます。プロ野球OBがトップレベルの野球技術を次の世代に伝承することをビジョンに掲げ、心身ともに最も成長し、自立していくための大事な準備期間であるこの時期に、同じ目標を持つ仲間とともに本事業を通して野球の技術力向上を目指します。

対象者: 中学3年生(来春高校硬式野球部に所属見込みの者)
開催期間: 2011年12月2日~2012年2月24日(全10回)
毎週金曜日 17:30~21:30
練習場: 明治神宮室内球技場
募集人数: 30名

詳しいお問合せは
軟式野球コミュニケーション(TEL 03-6228-6760)まで

第13回 全国アマチュア 野球指導者講習会

平成11年度から、アマチュア野球指導者を対象とした各部門(投手、捕手、内野手、外野手、打撃)による実技指導講習会も13回目を迎えます。

各地で開催を行うべく準備を致しております。

決定次第、当会公式ホームページにてご案内させていただきます。

感謝の集い 開催日を変更いたします

毎年12月に開催しておりました「感謝の集い」の日程を、公益法人移行後(2012年6月頃を予定)に変更いたします。詳細が決まり次第、改めてご案内申し上げます。

日本プロ野球OBクラブ推薦モビバンベースボール新発売!!

モビバン baseball
モビバン baseball の特性
使い方はバンド一つで100バウンド以上

- ストレッチに (練習前・試合前)
- インナーマッスル強化
- 筋力強化
- ケガの予防
- 手軽にどこでも

「コンパクトで軽量」
ダンベルなどを持ち歩くことは重たくて面倒くさい、でもモビバンは超軽量コンパクトで持ち運びに便利。カバンやポケットの中に収納可能。場所を選ばず、グラウンドでも、前の日でも使える。これ一つで十分OK!!
数種類の強度の違うバンドや重さの違うダンベル不要。2つあると更に使い方は多種多様になる。

インナーマッスル・ローテータカフ・肩甲下筋強化・膝下筋強化

モビバンを柱に掛けるまたは、持ってもらいながら、内側から外側にモビバンを引っ張ります。大胸筋に力が入らないように肩の内部を握ります。

10~20回2~3セット

ライバルはすでに使い始めている!!

よりすべりの40バウンドマニキュアル専用ケース 付!!

ベースボール専用モビバン登場!

price
日本プロ野球OBクラブ
ホームページからのご注文で

〈定価〉
1個入り ¥3,150(税込) ⇒ **¥2,835(税込)**
2個入り ¥5,250(税込) ⇒ **¥4,725(税込)**

OBクラブ 検索

販売元: SIPコーポレーション株式会社 代表取締役 佐藤 誠一
〒980-0022 宮城県仙台市青葉区五橋1丁目1-58-317
TEL:022-748-5047 FAX:022-748-5048

特別連載 野球体育博物館 第10回

藤村富美男選手の「物干し竿バット」

藤村富美男選手は、タイガース球団創立当時から活躍し「ミスター・タイガース」と呼ばれた名選手です。1974年に野球殿堂入りしています。三塁手として知られていますが、呉港中学時代は投手として1934年の夏の甲子園大会で優勝、プロでも通算34勝しています。特に戦後は、「物干し竿」と呼ばれる長いバットを使って長打を量産しました。1リーグ時代最後の1949年には本塁打王、打点王となり MVP に選ばれ、翌1950年には首位打者で、シーズン191安打を達成。この記録は、1994年にイチロー選手(オリックス)に抜かれるまで44年間も日本記録でした(昨年、タイガースの後輩となるマートン選手がイチロー選手の210安打を抜き、214本の日本記録を達成しました)。

当館には藤村氏ご本人からご寄贈いただいた「物干し竿バット」が1本あります。同じくタイガースに在籍していた弟の藤村隆男選手と間違えないためでしょうか、「藤村富」と書かれています。実際に測ってみると長さは92.5cmあります。イチロー選手の



バットは85cmなので、比べると7.5cmも長いバットです。ちなみに、公認野球規則ではバットの長さは42インチ(106.7cm)以下となっています。これは野球が日本に伝わる以前の1869年に米国で決められたルールが残っているもので、実際に打てるかどうかは別にして、藤村選手の「物干し竿」よりもっと長いバットもルール上はOKなのです。

バットの主なルールの変遷は以下の通りです。

1857年	木製の円い棒で太さが直径2 1/2インチ(6.3cm)以下(長さは自由)
1869年	長さ42インチ(106.7cm)以下(※)
1874年	全体が木製でなければならない(木製バットの場合は現在も同じ)
1885年	片面の一部は平面でもよい(円い棒でなくてもよい)
1893年	円い棒でなければならない(※)
1895年	太さが直径2 3/4インチ(7.0cm)以下
2010年	太さが直径2.61インチ(6.6cm)以下(日本では2011年から)(※)

※印は現在と同じ

募集しています!

全12ページにリニューアルしたOB NEWSでは、誌面の充実、皆様のお便りをご紹介するコーナーを準備中です。右記の例を参考に是非皆様のご意見お寄せください。また、OBへのメッセージや、似顔絵も受け付けています。ご応募はハガキ、封書、メールにて受け付けます。お名前、ご住所、電話番号を必ずご明記の上、下記までご応募ください。

- 「スペシャル対談」。「OBたちのNext Professional Life」コーナーに取り上げてほしいOB選手
- 私が選ぶ、名珍場面
- このチーム、OB選手のココが好き!
- 私とOB選手の思い出エピソード
- 今後読みたい企画
- 野球が大好きになった理由
- OB、賛助会員、一般の方でOB NEWSに広告を出したい方

あて先はコチラ 郵送: 〒130-0012 東京都墨田区太平4-13-2 太平サクラビル2階 日本プロ野球OBクラブ 会報誌係
メール: info@obclub.or.jp

日程	名称	会場	参加者
7月 1日(金)	第1回公益法人制度改革委員会	当会事務局(東京都墨田区)	道法孝典、玉利 真、川杉収二
3日(日)	トピカフェスタ東京、トークショー、サイン会	心猿サンシャインシティ(東京都墨田区)	中西 太、古澤竹雄
5日(火)	社団法人内外情勢調査会飛鳥支部懇話会	橋山荘(東京都文京区)	山田久志
8日(金)	スポーツ選手活用体力向上事業	杉戸小学校(埼玉県北葛城郡杉戸町)	三井浩二
12日(火)	第1回東北ブロック会議	ホテルレオパレス仙台(宮城県仙台市)	森 徹、小西秀明、吉田克郎、小野木孝
13日(水)	スポーツ選手活用体力向上事業	上川小学校(京都府福知山市)	大門和彦
19日(水)	埼玉総経理懇話会 講演会	清水園(埼玉県大宮市)	古澤竹雄
20日(水)	第5回常務理事会	墨田区総合体育館(東京都墨田区)	森 徹、清見秀雄、三浦政基、道法孝典、定永昭紀、玉利 真
20日(水)	第7回推進部会実行委員会	当会事務局(東京都墨田区)	森 徹、三浦政基
21日(木)	技術セミナーII 関西西地区 1日目	大阪市中央体育館(大阪府大阪市)	南平礼置蔵、南沢陽高、龜山 秀
21日(木)	技術セミナーII 関西西地区 2日目	〃	小川 孝、若菜高晴、野田浩司
24日(日)	羽生市少年野球教室	羽生中央公園(埼玉県羽生市)	矢作公一、三井浩二、原 健介、田中一徳
26日(火)	スポーツ選手活用体力向上事業	廿日市市取島小学校(広島県廿日市市)	池谷公二郎
30日(土)	ユメノベースボールクラブ野球教室	星ヶ台運動広場(岐阜県多治見市)	川又米利
8月 3日(水)	2011 夏休み 少年軟式野球合宿	江戸川臨海球技場(東京都江戸川区)	与田 剛
8日(日)	スポーツ選手活用体力向上事業	上野青森小学校(北海道野付郡野付町)	高田誠和
12日(金)	宮城臨海産業協同組合 野球教室	宮城臨海球場(宮城県仙台市)	駒田徳広、杉山賢人
13日(土)	羽生市少年野球教室	羽生中央公園(埼玉県羽生市)	黒江透修、大矢明彦、森 博幸、川崎義次郎
17日(水)	日本プロ野球OBクラブ杯 栃木県大会	鹿沼運動公園野球場ほか(栃木県鹿沼市)	森 徹、五月女豊、中塚政幸、市川和正、鈴木隆博
18日(木)	〃	〃	〃
27日(土)	〃 宮崎県大会	サンマリノスタジアムほか(宮崎県宮崎市)	三浦政基、片岡光宏、横口英利、本村慎吾
28日(日)	〃 佐賀県大会	城東中学校ほか(佐賀県佐賀市)	永瀬洋三、太田浩典
31日(水)	第1回野球事業推進委員会	墨田区総合体育館(東京都墨田区)	森 徹、三浦政基、道法孝典、木村竹志、井坂 興、中塚政幸、八木沢在六、片平晋作、水上善雄、森 宝生、佐藤 洋、矢作公一、仁志敏久
	第6回常務理事会	〃	森 徹、清見秀雄、三浦政基、道法孝典、定永昭紀、木村竹志、横山謙一郎、高津善信、玉利 真
9月 7日(水)	野球事業推進委員会	当会事務局(東京都墨田区)	森 徹、井坂 興、中塚政幸、森 宝生、佐藤 洋
8日(木)	東日本大震災支援活動プロジェクト会議	〃	〃
14日(水)	スポーツ選手活用体力向上事業	仲町小学校(埼玉県さいたま市)	森 博幸
19日(日)	キャッチボールを始めよう 朝宮公園キャッチボール教室	南ヶ丘保育園(福岡県大野城市)	坊西浩嗣
22日(木)	スポーツ選手活用体力向上事業	愛知県新宮公園(愛知県春日井市)	川又米利、藤野利通、今中慎二
25日(日)	〃	有仁小学校(京都府福知山市)	野田浩司
27日(火)	〃	標津町宮球場(北海道標津郡標津町)	津野 浩
30日(金)	〃	磯足小学校(埼玉県加須市)	駒崎孝一
	〃	鎌部小学校(京都府綾部市)	齊藤明雄
	〃	片浜小学校(静岡県沼津市)	山内和宏
	〃	横瀬小学校(茨城県那珂市)	露子利夫




Daiwa House®
大和ハウスグループ

共に創る。共に生きる。

大和ハウスグループは、
グループシンボル「エンドレスハート」に
お客様と私たちの永遠の絆と
私たちグループの連帯感を託しました。
人・街・暮らしの価値共創グループとして、
私たちは社会に新しい価値を築いてまいります。

大和ハウス工業株式会社
www.daiwahouse.co.jp



仁志 敏久氏 2011年8月入会

今後の“自分”と“OBクラブ”

引退から1年が過ぎ、やっとゆとりのある見方、考え方ができるようになったと感じます。プロ野球OBとして、いかなる行動をすべきか。また、どんなプランを持って未来ある子どもたちに野球を伝えていくべきかということ、今は深く考えています。

これまで全国各地でOBの方々をはじめとした多くの関係者皆さんが、野球教室などを通して底辺拡大に尽力されてきました。今、私たちにできることは、それをさらに地道でも続けていくこと。そして、できればもう一つ発展させていくことだと感じています。それは一般的な野球教室よりもさらに一歩踏み込んだ、スクールなどの実施。歴とした指導書を持つ日本プロ野球OBクラブが、子どもたちのためにもっとそれを生かすべきです。

今後、OBクラブの存在を強固にし、子どもたちに質のいい指導を提供できればと思います。

■新入会員一覧

氏名	球団	ポジション
真 裕次郎	近鉄、オリックス	内野手、投手
石井 浩郎	近鉄、巨人、ロッテ、横浜	内野手

■訃報 謹んでお悔やみ申し上げます

氏名	代表出身球団	逝去日	享年	生年
堀内 早一	大塚	2011年4月8日	78	1935
中野 三郎	巨人	2011年6月26日	78	1935
渡辺 長助	阪神	2011年6月28日	54	1956
伊藤 利夫	阪急	2011年7月20日	89	1922
板倉 正男	大塚	2011年7月28日	84	1927
河野 昭修	西武	2011年8月8日	80	1930
平光 満	セ・リーグ審判	2011年8月9日	73	1938

愛され続けて55年



オニザキの「つきごま」はゴマの粒を程よく残しつつ、

硬い皮を細かく砕き、

ゴマ本来の甘みと、独特のしっとり感が特長です。

料理にお使いいただくだけでなく、そのまま食べても美味しいすりごまです。

杵つき製法でていねいに作ったオニザキの「つきごま」シリーズ



株式会社 オニザキコーポレーションセールス

〒882-0951 熊本市上水前寺1-6-41 OCOビルディング

お電話の方は—

0120-30-5050

受付時間 / 【平日】9:00~20:00【土日祝】9:00~17:30

FAXの方は—

0120-50-4141

オニザキ

検索

<http://www.gomagoma.net/>